

令和 8 年度町政懇談会事前質問（すみよし自治会）

	意見・要望・質問	担当課	回 答
1	「わたしの避難計画」リストは自治会に来ているが、実際の運用はどうすればいいのか？また、リストはどのような団体に配布されていて、どの団体を中心になって行動するのか？昨年の町政懇談会の時に質問したが、回答がなかった。	総務	「わたしの避難計画」については避難支援関係者（自治会、民生委員、消防団、各居宅介護・相談支援事業所、福祉避難所、緊急連絡先家族等、避難時支援者、本人）へ共有しております。災害時には避難時支援者が中心となり対応いただくこととしておりますが、状況によっては対応できないことも想定されますので、自治会におかれましては、支援対象者の避難計画の内容につきまして、日頃から情報共有をお願いいたします。
2	クリーン作戦、側溝清掃の日は役場が主導して行っているのに、役場職員が自発的に参加しないのはどうしてなのか。町職員としての自覚が無いと考えざるを得ない。町民同様ボランティアで参加すべきと考えるが？	町民税務	担当課の職員は業務として勤務しておりますが、それ以外の職員につきましては、地域住民としての立場での自発的な参加を呼び掛けております。
3	町の移住・定住施策について、実績及びその後の経過はどうなっているのか？3年間で人口が1,000人も減っている。また、令和8年度8,500万円の予算を計上しているが、どのように使っているのか？予算を注ぎこみすぎではないのか？	政策推進	移住・定住施策が開始された令和3年度から今年8月31日までの本町における移住者数は、県内からの移住者が226名、県外からの移住者が222名、合計448名となっているところであり、今後も引き続き移住者の積極的な確保に努めてまいります。 なお、令和8年度予算につきましては、移住相談窓口、移住・定住等に係る情報発信及び地域おこし協力隊の採用に係る業務等、大きく7事業に使用しており、福島再生加速化交付金を活用しております。
4	第6次振興計画にある「川俣町中心市街地活性化」に関して、市街地は寂れる一方なのに、現在どのような事業を展開または計画しているのか？	政策推進	町では、令和8年度から10年度を対象期間とした第2期実施計画をとりまとめ、総事業数313事業を盛り込んでおります。 具体的な事業計画といたしましては、中心市街地活性化の拠点となる「川俣町貸事業所」の管理・運営を行う「中心市街地の活性化事業」、「中小企業支援補助金交付事業」や「空き店舗活用事業」などを計画・実施し、引き続き中心市街地の活性化に努めてまいります。

5	川俣都市計画道路（五百田飯坂中道線）の計画を撤廃すべきでは？	建設水道	川俣都市計画道路の計画については、福島県長期未着手都市計画道路見直しガイドラインに基づき、今後の人口減少、社会経済状況の変化等を踏まえて、道路の必要性・事業可能性の検証したうえで、見直してまいります。
---	--------------------------------	------	--